



みんなが主役 豊岡小

大 楓



平成30年3月23日 No.23

銚子市立豊岡小学校

卒業 おめでとう！



3月16日（金）、6年生の卒業式を実施しました。あいにくの雨模様の天気でしたが多くの来賓の方に参加していただいた中、男子4名、女子4名の計8名が、立派な態度で卒業しました。また、在校生も1年生からの参加でしたが、皆最後までしっかりした態度で参加し、厳粛な式となりました。

全校43名と少ない人数ながら、すばらしい歌声を響かせ、「別れの言葉」では、卒業生も感極まって涙を流しながらの呼びかけとなり、思いのこもった感動的な式で、来賓の方々

から「すばらしい卒業式だった」とお褒めの言葉をいただきました。

校長式辞の中で、卒業生へのはなむけとして、次のような話をしました。

「冬季五輪で銅メダルを獲得したカーリング女子チームの吉田知那美選手が、地元の常呂町に戻った時のスピーチで話したことです。『この町には、何もない。小さい頃はここにいたら夢は叶わないんじゃないかと思っていた。でも今は、この町じゃなければ夢は叶わなかったと思う。いろいろな夢はあると思うけど、場所は関係なく、大切な仲間や家族がいるとか、どうしてもかなえたい夢があるとか、どこでも夢は叶う。』町が大きいから、人が多いからというのではなく、そこに仲間がいる、大切な家族がいる、そして何より、自分自身どんな夢を持っているかが大切。みなさんには支え合える仲間、支えてくれる家族、温かく見守ってくださる地域の方々がいる。みなさんのふるさと豊岡に誇りをもって、そして、自信をもって中学校に進んでください。」

卒業生8名の前途を祝します。



確かな成長～平成29年度の修了

本日、3月23日（金）、1年生から5年生まで計35名の修了式を実施しました。

どの学年も、何事にもしっかり取り組み、毎日の生活、そして行事等を通して確実に成長してきました。また、学年を越えた活動の中で、それぞれの学年の務めを果たしてきました。

どの子どもこの1年間で多くのことができるようになりました。また、内面もしっかり成長してきました。子どもが小さい頃は、一つ何かができる度に喜び、ほめてきました。しかし、大きくなってくると、できて当たり前、できないことが目につくようになり、ほめることも少なくなりがちです。もう一度、目の前のお子様をよく見ていただくと、4月と比べて、できることがずいぶん増えたこと、そして、その成長ぶりに気づかれるはずです。ぜひ、ほめてあげてください。そして、進級、平成30年度への期待を高めてください。

4月9日、子どもたちの希望に満ちた顔に会えることを楽しみにしています。

平成29年度を無事終えることができました。子どもたちは、本当に素直に、まっすぐ育っています。保護者の方々に本校の教育活動へのご理解とご協力をいただいたこと、そして地域の方々に温かく見守っていただいたおかげです。1年間ありがとうございました。